

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 19 年 6 月 14 日 (2007.6.14)

【公開番号】特開 2001-313854 (P2001-313854A)  
 【公開日】平成 13 年 11 月 9 日 (2001.11.9)  
 【出願番号】特願 2000-128036 (P2000-128036)  
 【国際特許分類】

**H 0 4 N**    **5/225**    **(2006.01)**  
**G 0 3 B**    **17/02**    **(2006.01)**  
**H 0 1 M**    **10/46**    **(2006.01)**  
**H 0 2 J**    **7/00**    **(2006.01)**

【F I】

H 0 4 N    5/225                    F  
 G 0 3 B    17/02  
 H 0 1 M    10/46  
 H 0 2 J    7/00            3 0 1 A

【手続補正書】  
 【提出日】平成 19 年 4 月 23 日 (2007.4.23)  
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】発明の名称  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

【発明の名称】電子機器

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ジャックを有するカブラを装填可能な電池室と、  
 前記電池室に前記カブラを装填した状態で、前記電池室の開口を閉鎖する電池蓋とを有し

、  
前記電池蓋に、前記電池蓋を閉鎖した状態で前記ジャックに外部電源のプラグを挿通す  
るための孔が形成されることを特徴とする電子機器。

【請求項 2】 ジャックを有するカブラを装填可能な電池室を有し、  
前記電池室に、前記電池室に前記カブラを装填した状態で前記ジャックに外部電源のプ  
ラグを挿通するための孔が形成されることを特徴とする電子機器。

【請求項 3】 前記カブラは前記電子機器に使用可能な電池パックと略同形状である  
ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の電子機器。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 0 1  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、外部電源を供給可能な電子機器に関するものである。

## 【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

本発明は、このような状況のもとでなされたもので、外部電源の接続に関する電子機器の設計上の制約が低減でき、さらなる小型化が可能になる電子機器を提供することを課題とするものである。

## 【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

【課題を解決するための手段】

本発明の電子機器は、ジャックを有するカブラを装填可能な電池室と、前記電池室に前記カブラを装填した状態で、前記電池室の開口を閉鎖する電池蓋とを有し、前記電池蓋に、前記電池蓋を閉鎖した状態で前記ジャックに外部電源のプラグを挿通するための孔が形成されることを特徴とする。

## 【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

本発明の電子機器は、ジャックを有するカブラを装填可能な電池室を有し、前記電池室に、前記電池室に前記カブラを装填した状態で前記ジャックに外部電源のプラグを挿通するための孔が形成されることを特徴とする。

## 【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正９】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正１０】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正１１】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、外部電源との接続位置が電池室周辺の任意の位置に自由度を増すため、電子機器の設計上の制約が低減し、さらなる小型化が可能になる。

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】削除

【補正の内容】